葬儀の現場で見えてきたもの

葬儀参列者の減少

地縁・血縁が薄くなってきている

喪主不在の増加

家族や親族がいない又は
いても関わらないかたが増えてきてる

独居生活支援の現場で見えてきたもの

誰もが最後は一人暮らし

ご家族がいても、最後は一人という現実

制度には隙間がある

制度には目が届かない、手が届かない
部分があり、民間や市民レベルでの
〝お互いさまが必要〟

相談のなかでみえてきたもの

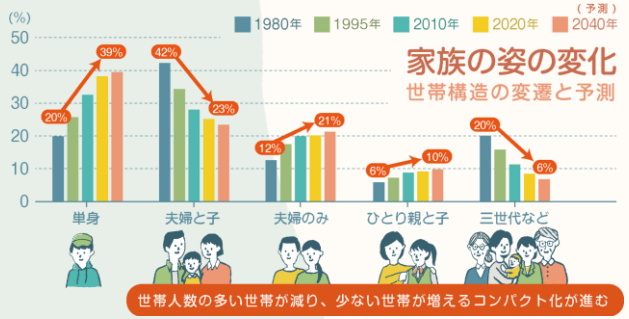
一人だと食がおざなり

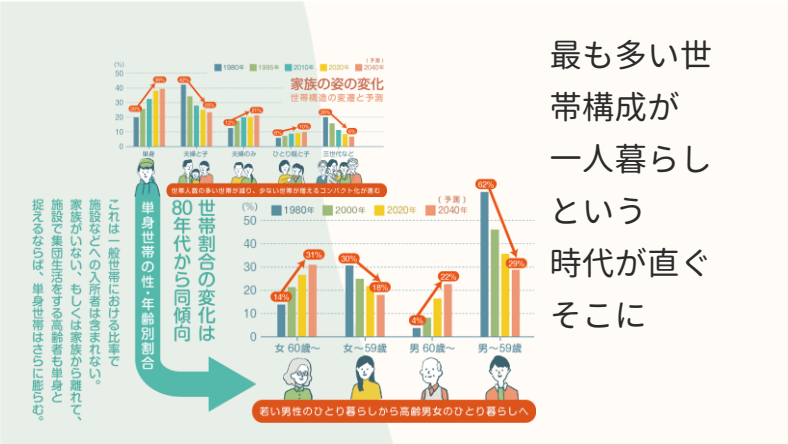
独居生活では食事がおざなりになり
体力を落として要支援・要介護へ

相談できる関係の不在

普段から雑談や相談できる人がいない

世帯人数の減少がこれからのトレンド





最も多い世帯構成が一人暮らしという時代が直ぐそこに

海近寺巣は放課後の子どもたちの居場所に

夏休みの東光院

朝7時くらいから子どもたちがやってきます

普段の関わりから気軽な存在に

地域の祭への参加

東光院の隣接地域の祭で
子ども参加が増加

月食とたこパ

月食をみたいとせがまれて
月食観察とたこ焼きパーティ

WBC観戦

家でみることができないという
子どものために一緒に観戦

お寺を手伝う子どもたち

雑草抜きや掃除・イベントの準備など

子どもたちも
つながりが必要

夜ご飯はファミチキ

ご家庭の事情で夜ご飯をしっかり食べていない子どもが意外といる

子どももやりがいや役割が欲しい

みんな積極的に手伝いをしてくれるし、頼れば頑張ってくれる

東光院の発心

普段の活動で遭遇した
〝巻き込まれ事故〟が
地域課題のヒントになる。

急激に変化する社会情勢に既存の仕組みが有効ではなくなっています。
ご家族のいない方や高齢の方の支援。制度の追いつかない
多様な問題をお互いの力で解決するそんなプロジェクト。
家族の境界をすこし広く、おたがいさまの関係を築き
お互いに救い合うための仕組みづくりが急務！

活動の指針

東光院の全ての活動で
大切にしている基本姿勢

1. まずはやってみる
2. 巻き込まれ事故はギフト！
3. 変えてもいい！止めてもいい！
4. 責任は本人しか取れない共通認識
5. ホストとゲストを分けない

スピードと

- 1月 **多世代食堂の企画立案**
  寺院内の会議で承認を得る
- 2月 **関係者 協力依頼**
  物件の大家さんとの交渉
- 3月 **住宅の掃除を開始**
  地域住民や子どもたちと片付け
- 8月 **寄附金募集開始**
  目標額500万円(2ヵ月で達成)
- 11月 **運用テスト開始**
  保健所への審査や運用テスト

運営-食材の確保

大磯港の漁師さんから
未活用魚などの提供

運営-食材の確保

大磯の農家産や自家菜園から
野菜などの提供

運営-食材の確保

東光院の六波羅蜜米
お供物のおさがりで笑顔を

皆で
DIY

皆で
DIY

家具も手作り

おむすびは大磯で捕れたお魚や
湘南で育った野菜やお米を
多くの方々のご支援にて
みんなで頂いています
寄付箱
みんなでつくる食事に金額は
定めていませんが、活動支援
のためのご寄付にご理解と
ご協力をお願い致します
あくまでも支援金なので余裕のあるときにお願いします

もえるゴミ
ペットボトル
プラごみ